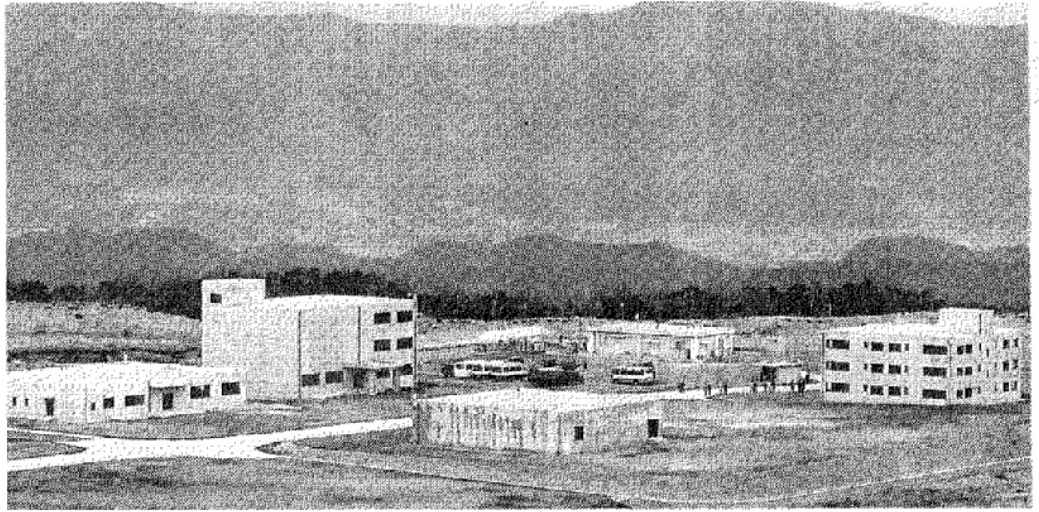


マンションやスーパー、テレビ局などに模した建物が並び、小規模な街が出現した市街地訓練場



市街地訓練場が完成

陸自霧島演習場 対ゲリラ戦など想定

湧水町と宮崎県えびの市にまたがる陸上自衛隊霧島演習場に対ゲリラ戦などを想定した市街地訓練場が完成し16日、開所式があった。九州の部隊が4月から、小隊規模(約30人)での訓練を予定している。

約4・7畝の広さにテレビ局、銀行、スーパー、マンションに模した鉄筋コンクリート造りの建物と訓練センター(管理棟)の計5棟を建設。下水道に見立てた延長200メートルの地下道や道路も整備し、小規模な街を再現した。

建物に設置したテレビカメラや隊員が身に着けた受信装置などを通じて、訓練の映像や火器(レーザー光線)の命中率などの交戦データを収集する。訓練後の研究会に生かす。総事業費は約7億円。

陸自は市街地戦闘能力を高めるため、全国5方面隊ごとに専用訓練場を整備中で、これまで東部方面隊の東富士、

中部方面隊のあいば野の各訓練場が完成している。

開所式で林直人・西部

方面総監は「各部隊は訓練場を有効に使い、技を磨いてほしい」と述べた。
【本元六男】